

ピラサ

「ピラサ」とは、アイヌ語で
「広げる」を意味する言葉です。

北海道には、ウポポイ以外にも、アイヌの人たちの歴史・文化等について体験を通して学習することができる多くの施設があります。今号では、札幌市にある北海道博物館とサッポロピリカコタンを紹介します。

北海道博物館

平成27年4月に北海道開拓記念館と北海道立アイヌ民族文化研究センターが統合され北海道博物館として再スタート、アイヌ関連の展示等もより充実しました。

総合展示は北海道の自然・歴史・文化を物語る5つのテーマで構成されています。

その中でも第2テーマ「アイヌ文化の世界」では、「現在を知る」「伝統を学ぶ」「ことばを聴く」「歩みをたどる」の4つのコーナーが設けられ、アイヌ民族の伝統的な生活文化のほか、アイヌ語や物語、歌などの伝承されてきた文化、さらに近現代を生きる人々のすがたを紹介しています。音声や映像を活用しながら理解を深めることができるよう工夫がされています。



1 現在を知る



明治・大正・昭和……から現在までを
生きた人々のすがたを、5世代にわたる家
族の物語のかたちで紹介しています。

2 伝統を学ぶ



今から100~200年前のアイヌ民族の暮ら
しの中で使われていたものや、それらを復元したも
のを見ることができます。
※現在のアイヌ民族が、このような生活をしているわけでは
ありません。

3 ことばを聴く



口承文芸や歌、踊り、楽器などを紹介す
る映像や、アイヌの物語をもとにしたアニメ
ーションを視聴することができます。

4 歩みをたどる



近現代のアイヌの人々の発言や様々な
活動の様子を、当時の音声などもまじえて
紹介しています。

出典：北海道博物館ホームページ

バーチャル北海道博物館

端末を活用して展示室内を自由に見学し、展示の
内容を紹介する動画を視聴することができます。



北海道博物館

札幌市厚別区厚別町小野幌 53-2

Tel 011-898-0466

<https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/>

サッポロピリカコタン

サッポロピリカコタンとは、アイヌ語で「札幌の美しい村」という意味です。この施設では、北の大地に先住し、独自の文化を育ててきたアイヌ民族の生活や歴史、文化などについて体験しながら学び、理解を深めることができます。展示室には伝統衣服や民具など約300点が展示されており、実際に手に取って見ることができます。※現在は、新型コロナウイルス感染予防のため、手に取ることはお控えいただいています。



展示室



約300点の民具が展示されており、手に取って見ることで、アイヌ民族の伝統的な暮らしを想像することができます。また、アイヌ語に関するクイズや昔話などを楽しむこともできます。

アイヌ体験文化コーナー



無料で刺繍・木彫り・ストラップ制作やアイヌ民族の衣装や民具を身に付けるなどの体験を楽しむことができます。
(詳細は右のQRコードをクリック)



歴史の里



チセ(伝統家屋)やヘペレセツ(小熊の飼育おり)、プ(倉)などを見ることができます。

自然の里



イユタプ(精米用具)を見ることができます。

イタオマチプ



13世紀頃から交易や漁に使われていた約15メートルのイタオマチプ(外洋船)を見ることができます。



出典：札幌市アイヌ文化交流センターホームページ

サッポロピリカコタン(札幌市アイヌ文化交流センター)
札幌市南区小金湯27番地 Tel 011-596-5961
<https://www.city.sapporo.jp/shimin/pirka-kotan/>

お知らせ

道教委では、「北海道アイヌ教育相談員」による小・中学校等の「アイヌの人たちの歴史・文化等」の学習支援を行っています。

「北海道アイヌ教育相談員」は、小・中学生や教員を対象としたアイヌの人たちの歴史や文化等に関する講話や出前授業を実施する他、教員の研修会等で活用する資料等の作成や市町村が作成する小学校社会科の副読本作成への協力なども行ってまいります。

ご希望の際は、各市町村教育委員会を通して、当課まで連絡をお願いします。

【問合せ先】北海道教育庁学校教育局義務教育課 Tel 011-204-5963